

# 箱根町立郷土資料館

館 報

第 32 号

---

---

2015.11.30

---

---

## はじめに

本書は、箱根町立郷土資料館が平成26年度中に行ってきた諸活動について、報告するものです。Ⅰ管理・運営、Ⅱ教育普及活動、Ⅲ郷土資料収集管理の3章に分けて構成いたしました。

資料館活動の中心となる教育普及活動では、企画展『国登録記念物登録記念近代箱根の名園～恩賜箱根公園・強羅公園・神仙郷～』を開催いたしました。これは平成25年度に国登録記念物登録記念物文化財に登録された明治・大正期に起源をもつ3園の歴史や庭園の価値について紹介したものです。

またその他にも夏休み期間の特別行事として子どもから大人まで楽しめるイベントを用意した「夏休み体験広場」や仙石原に伝わる正月の玄関飾りを作る「正月飾りを作ろう」、正月の伝統行事である七草がゆ作りと、その試食を通して、箱根地方に伝わる年中行事を体験した「お正月を楽しむ会」などの体験学習を開催し、箱根の伝統文化を幅広く知っていただくことができました。その他にも、箱根探訪会や自治学習出張講座などを行い、多くの方々にご参加いただき、充実した活動を展開することができました。今後共こうした活動をとおして、郷土資料館が多くの皆様に有効に活用していただけるよう、努力していきたいと思っております。

なお、入館された方々が自由に記入できる雑記ノート(平成26年度分)から一部の方々の感想を抜き出し、「入館者の声」と題して掲載いたしました。

末筆になりましたが、展示開催はじめ、各種事業の実施に際しまして、お世話になりました関係各位には、深く感謝申し上げます。

平成27年11月30日

箱根町立郷土資料館

館長 鈴木康弘

# 目 次

## I 管理・運営

1	郷土資料館の概要 .....	1
	(1) 役割 (2) 事業 (3) 施設概要 (4) 組織	
2	郷土資料館運営懇話会 .....	3
	(1) 委員名簿 (2) 会議内容	
3	平成 26 年度予算 .....	4
4	平成 26 年度入館状況 .....	4
5	年度別入館者の推移 .....	5
6	図書室利用者数一覧 .....	5
7	資料館 1 年のあゆみ .....	5
8	広報活動 .....	8

## II 教育普及活動

1	展示活動 .....	8
	(1) 特別展示 (2) 展示解説	
2	体験学習 .....	9
	(1) ワークショップ (2) 夏休み体験広場 (3) 正月飾りを作ろう (4) 正月を楽しむ会	
3	箱根探訪会 .....	1 6
	(1) 芦之湯歴史探訪会 (2) 塔之澤の近代建築 (3) 二ノ平から木賀の滝不動へ (4) 宮ノ下れきし散策 (5) 強羅の坂道散歩 (6) 湯場の歴史探訪会	
4	講師派遣活動 .....	1 9
	(1) 学校講師派遣事業 (2) 自治学習出張講座 (3) その他	
5	学習活動の支援 .....	2 2
	(1) 石造物を調べる会 (2) ボランティア活動 (3) 博物館実習生の受け入れ (4) 幼稚園研修の受け入れ (5) 箱根中学校職場体験学習の受け入れ	
6	出版事業 .....	2 4
	(1) 本年度出版物 (2) 過去出版物	

## III 郷土資料の調査、収集・活用

1	調査・整理活動 .....	2 7
	(1) 民俗調査 (2) 歴史資料	
2	資料の受け入れ .....	2 8
	(1) 寄贈資料 (2) 寄託資料 (3) 図書資料	
3	資料の利用 .....	3 3
	(1) 貸出 (2) 提供	
	箱根町立郷土資料館条例他 .....	3 8
	・付記	
	入館者の声 .....	4 0

# I 管理・運営

## 1 概要

### (1) 役割

箱根山に生活し、またここを通過した人々の足跡を後世に伝えること、そしてこれらをもとに、今日の私たちの生き方やこれから先の生活を考えていくことは、現在に生きる私たちの責任である。

郷土資料館は、この考えのもと、箱根の考古・歴史・民俗資料を収集・保管し、教育的配慮のもとに展示公開して、町民の文化の向上等に資する役割を担っているものである。

### (2) 事業 ※教育目標における生涯学習施設としての郷土資料館の役割

#### ア 性格の位置付け

(ア) 箱根山の歴史や文化に関する資料を収集し、保管し、調査研究して、教育普及活動に供する。

(イ) 考古、歴史、民俗資料を取り扱う人文系博物館で、生涯学習を推進する実物教育機関とする。

(ウ) 箱根町の学校や諸文化施設との連絡を密に取り、箱根町の文化振興に寄与する。

#### イ 事業

(ア) 収集 箱根山の歴史、文化に関する資料を、町内外を問わず収集する。

(イ) 保存 収集した資料の保存には万全を期し、後世に伝えていく。

(ウ) 調査研究 考古、歴史、民俗の各資料の調査研究を行うほか、展示技術・保存技術に関する調査研究を行う。

(エ) 教育普及 各種展示の開催のほか、必要な刊行事業、研究会、講習会を教育的配慮のもとに行う。

### (3) 施設概要

・所在地	神奈川県足柄下郡箱根町湯本 266 番地				
・敷地面積	1,481.67 m <sup>2</sup>	・建築面積	737.707 m <sup>2</sup>	・延床面積	1,979.183 m <sup>2</sup>
・建物高	19.666m	・構造規模	鉄筋コンクリート造地上3階地下1階建		
・開館	昭年 58 年 7 月 21 日				

### (主な部屋の面積)

(単位 m<sup>2</sup>)

B 1	荷降場・荷捌室 136.50				
1 F	特別収蔵庫 46.17	第1収蔵庫 133.46	第2収蔵庫 35.38	文書収蔵庫 68.85	
	研究室 26.25	工作室 42.24	写場 68.50	燻蒸室 17.04	
2 F	教育委員会事務室等 158.1 学習室 98.22 図書室 75.87				
3 F	常設展示室 214.13 特別展示室 100.20				

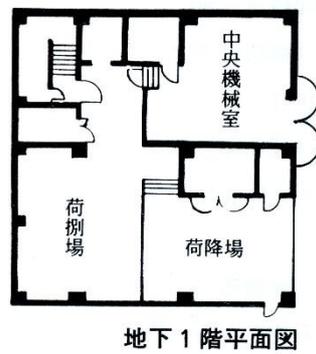
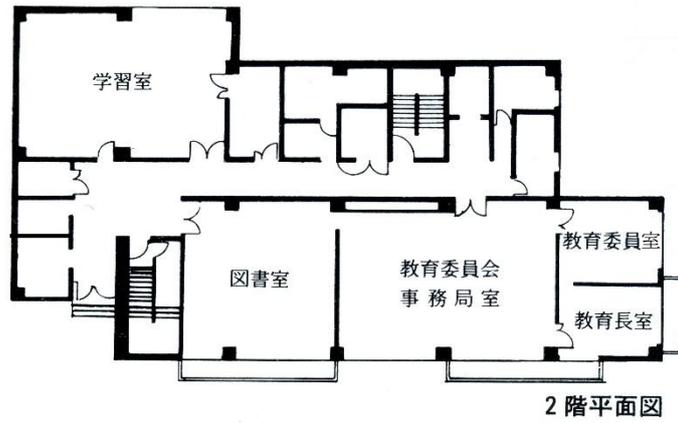
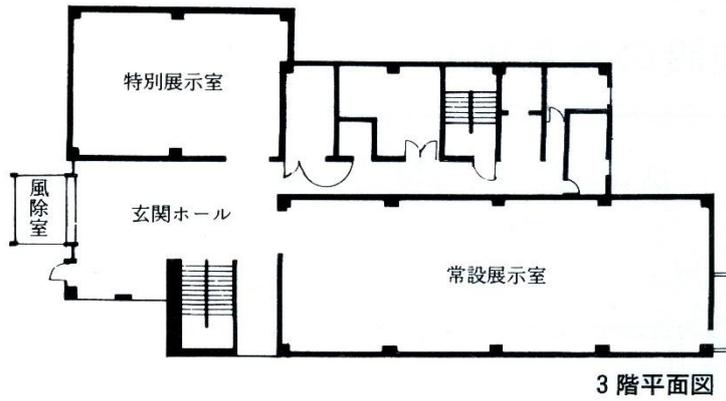
※特別収蔵庫…主に寄託・借用資料

※第1収蔵庫…木製品中心の民俗資料

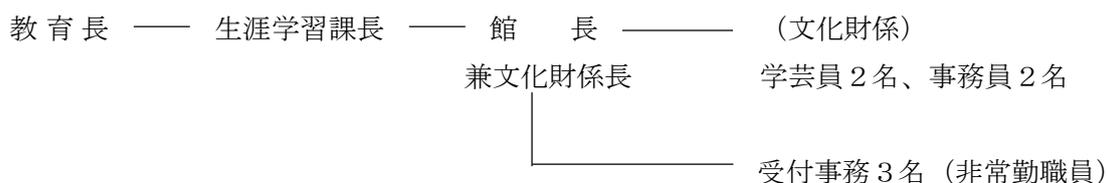
※第2収蔵庫…土、石製品中心の考古資料

※文書収蔵庫…紙製品中心の歴史資料

(各階平面図)



(4) 組織



職員名簿 (平成26年4月1日現在)

教育長	小林 恭一	主 査	小野 洋美
課 長	大和田 公一	主任学芸員	野坂 優介
館長兼文化財係長	鈴木 康弘	主 事 補	水田 彬寛
副 技 幹	高橋 一公		

2 郷土資料館運営懇話会

郷土資料館活動をより効果的に進めることを目的に調査・研究し、意見・提言を行う会で、自治会連絡協議会・社会教育関係団体・町立小・中学校教諭・有識者から構成されている。

(1) 委員名簿 (任期・平成26年4月1日～27年3月31日)

氏 名	所 属
福住 幸次	自治会連絡協議会
内田 良雄	自治会連絡協議会
土屋 克夫	自治会連絡協議会
勝俣賀寿代	女性会連絡協議会
鈴木 太源	文化財保護委員会
福住 治彦	有識者
岩崎 克彦	有識者
井上 康樹	校長会 (仙石原小学校教頭)

(2) 会議内容

第1回 平成26年7月8日(火) 10時～12時

会議内容 (1)平成26年度の主な館活動について  
(2)その他

第2回 平成26年11月21日(金) 13時30分～15時30分

会議内容 (1)平成26年度上半期活動報告  
(2)平成26年度下半期の活動予定について  
(3)その他

第3回 平成27年2月26日(木) 10時～12時

会議内容 (1)平成26年度下半期活動報告  
(2)平成27年度の活動計画について  
(3)その他

### 3 平成 26 年度予算

(単位：千円)

節	金額	内 容
賃 金	1,731	事務補助員賃金
報 償 費	58	運営懇話会謝礼・展示開催時協力者謝礼・体験学習協力者謝礼
旅 費	29	企画展・資料収集等旅費
需 用 費	7,515	
消耗品費	163	一般消耗品・展示開催体験学習時消耗品
食糧費	26	体験学習時食材代
印刷製本費	327	入館券・パンフレット・企画展関係印刷
光熱水費	6,335	電気・水道・ガス代
修繕料	664	館内修繕等
役 務 費	145	消防設備点検・ボランティア保険料
委 託 料	5,805	清掃及び機械設備保守管理・警備委託・空調機調査設計委託
使用料及び賃借料	28	テレビ受信料・道路通行料
負担金補助金 及び交付金	65	県博物館協会負担金・わらじ体験事業補助金
合 計	15,376	

### 4 平成 26 年度入館状況

(単位：人、入館料は円)

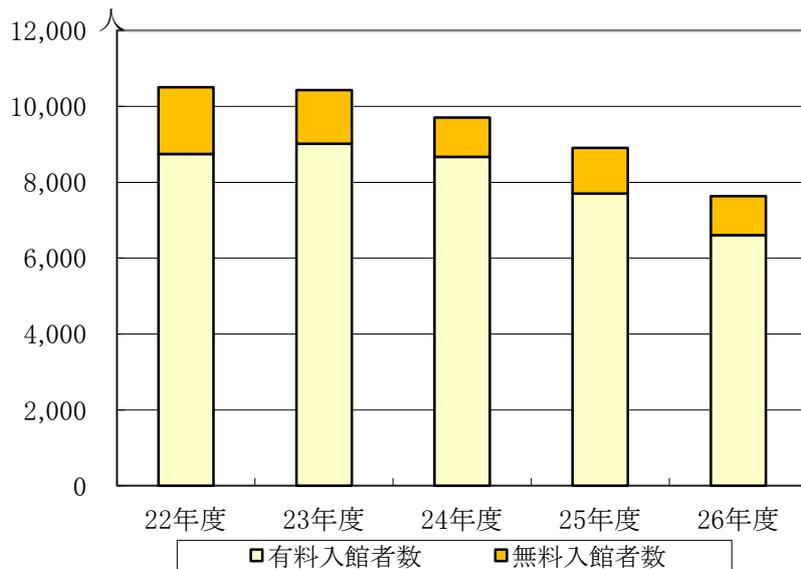
	有 料								無 料						合 計			
	個 人		団 体		割 引		小 計		町 外		町 内		小 計		合 計		入館料	
	一般	小中	一般	小中	一般	小中	一般	小中	一般	小中	一般	小中	一般	小中	一般	小中		
4月	265	2	0	0	144	3	409	5	15	11	19	2	34	13	443	18	461	74,250
5月	434	15	0	55	259	0	693	70	19	23	6	0	25	23	718	93	811	129,400
6月	220	2	4	0	155	0	379	2	33	12	19	1	52	13	431	15	446	67,900
7月	266	9	26	0	243	1	535	10	26	16	18	81	44	97	579	107	686	93,930
8月	459	64	24	0	280	34	763	98	46	75	31	8	77	83	840	181	1,021	144,950
9月	266	14	75	0	161	0	502	14	47	15	7	0	54	15	556	29	585	89,700
10月	260	8	23	0	237	5	520	13	36	11	37	2	73	13	593	26	619	91,850
11月	359	1	78	0	288	2	725	3	27	11	22	9	49	20	774	23	797	125,750
12月	183	0	0	0	190	0	373	0	2	12	13	7	15	19	388	19	407	64,950
1月	173	2	0	0	146	0	319	2	91	44	29	38	120	82	439	84	523	56,310
2月	218	2	127	0	229	0	574	2	6	13	9	6	15	19	589	21	610	96,600
3月	313	8	0	0	274	4	587	12	8	21	18	19	26	40	613	52	665	104,240
合計	3,416	127	357	55	2,606	49	6,379	231	356	264	228	173	584	437	6,963	668	7,631	1,139,830

※小中は小中学生

## 5 年度別入館状況の推移

(単位：人、入館料は円)

年 度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
有料入館者数	8,746	9,012	8,670	7,699	6,610
無料入館者数	1,761	1,417	1,036	1,206	1,021
総入館者数	10,507	10,429	9,706	8,905	7,631
入館料	1,629,330	1,561,470	1,501,520	1,438,320	1,139,830



## 6 図書室利用者数一覧

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成22年度	5	9	9	8	11	3	11	3	2	4	4	1	70
平成23年度	1	2	9	8	16	6	14	8	6	7	5	6	88
平成24年度	13	11	4	11	5	6	16	7	9	15	8	13	118
平成25年度	15	15	21	2	8	14	7	12	8	11	56	6	175
平成26年度	8	13	7	19	25	19	56	13	32	12	7	10	221

## 7 資料館1年のあゆみ

4月	18日	神奈川県博物館協会役員会
	18日	歴史授業(仙石原小学校)
	19日	神奈川県博物館協会合同部会
	24日	郷土資料館ボランティア活動

5月	8日	郷土資料館ボランティア活動
	12日	第1回箱根探訪会（芦之湯）
	18日	史跡案内 箱根森林浴ウォーク ガイドウォークほか
	22日	郷土資料館ボランティア活動
	29日	石造物を調べる会ボランティア活動
	30日	史跡案内（野外学習） 学芸大学附属大泉小学校
6月	13日	ミュージアムリレー（元箱根石仏群）
	17日	体験学習「わらじ作り」 仙石原小学校
		郷土資料館ボランティア活動
	26日	体験学習「わらじ作り」 湯本小学校
郷土資料館ボランティア活動		
7月	4日	体験学習「わらじ作り」 湯河原町立湯河原小学校
		郷土資料館ボランティア活動
	8日	第1回運営懇話会
	11日	石造物を調べる会ボランティア活動
	14日	体験学習「わらじ作り」 箱根の森小学校
		郷土資料館ボランティア活動
	15日	第2回箱根探訪会（塔之澤）
	17日	歴史授業（箱根の森小学校）
	18日	自然に親しむ運動講師
	22日	体験学習「わらじ歩き」 小学校三校わらじ歩き
	24日	歴史授業（仙石原小学校）
30日	キッズカレッジ講師（箱根の森小学校）	
8月	1日～31日	体験広場「夏休み体験広場」開催（毎週火・木曜）
	4日	石造物を調べる会ボランティア活動
	5日	体験広場（寄木模様のパズルで遊ぼう&からくり教室）
	7日	体験広場（昔の道具体験①）
	11日	中学生ふれあいボランティア（元箱根）
	12日	体験広場（彩色写真・絵の具でチャレンジ）
	14日	体験広場（江戸時代のすごろくで遊ぼう）
	18日～28日	博物館実習
	19日	体験広場（昔の道具体験②&拓本って知ってる？）
	21日	体験広場（わらじを履こう&わらじをつくろう）
	26日	体験広場（火を起こしてみよう）
	28日	体験広場（土器の模様は何模様？）
	29日	第3回箱根探訪会（二ノ平）
9月	4日	郷土資料館ボランティア活動
	5日	石造物を調べる会ボランティア活動

	8日	歴史授業（湯本小学校）
	18日	郷土資料館ボランティア活動
	25日	歴史授業（箱根の森小学校）
10月	2日	郷土資料館ボランティア活動
	4日～11月30日	企画展「国登録記念物登録記念 近代箱根の名園」開催
	7日	歴史授業（仙石原小学校）
	9日	石造物を調べる会ボランティア活動
	20日	第4回箱根探訪会（宮ノ下） 自治学習出張講座（函嶺白百合学園）
	23日	自治学習出張講座（函嶺白百合学園） 郷土資料館ボランティア活動
	24日	自治学習出張講座（函嶺白百合学園）
	28日	箱根中学校職場体験
11月	1日	第5回箱根探訪会（強羅）
	6日	郷土資料館ボランティア活動
	14日	石造物を調べる会ボランティア活動
	20日	郷土資料館ボランティア活動
	21日	第2回運営懇話会
12月	3日～	常設展補完展示開催「箱根のはじまり」
	4日	神奈川県博物館協会役員会 郷土資料館ボランティア活動
	12日	石造物を調べる会ボランティア活動
	18日	郷土資料館ボランティア活動
	26日	体験学習「正月飾りを作ろう」開催
1月	6日	体験学習「お正月を楽しむ会」開催 ボランティア活動
	9日	石造物を調べる会ボランティア活動
	15日	歴史授業（函嶺白百合学園）
	22日	郷土資料館ボランティア活動
2月	5日	郷土資料館ボランティア活動
	13日	石造物を調べる会ボランティア活動
	14日	神奈川県博物館協会
	19日	郷土資料館ボランティア活動
	20日	神奈川県博物館協会
	27日	第3回運営懇話会
3月	3日	第6回箱根探訪会（湯場）
	5日	郷土資料館ボランティア活動
	13日	石造物を調べる会ボランティア活動

19日	郷土資料館ボランティア活動
20日	郷土資料館ボランティア活動
21日	第2回運営懇話会

## 8 広報活動

### (1) マスメディア等への情報提供

月日	掲載場所	内容
7月15日	インターネットミュージアム	ミュージアムキャラクター人気投票2014に、資料館キャラクター『やじさん・きたさん』が参加。26位(38人中)
10月16日	あしがらネット	企画展『近代箱根の名園』の紹介記事が掲載。
10月24日	神奈川新聞 Iバザール	
11月13日	神静民報	
12月26日	あしがらネット	体験学習「お正月を楽しむ会」の紹介記事が掲載。
1月1日	ポスト	
1月3日	神静民報	
1月7日	神奈川新聞	
1月7日	神静民報	体験学習「お正月を楽しむ会」の様子が掲載。

## II 教育普及活動

### 1 展示活動

実物資料を通じた箱根の歴史や文化の情報提供・学習機会を図った。

#### (1) 特別展示

##### 『国登録記念物登録記念 近代箱根の名園～恩賜箱根公園・強羅公園・神仙郷～』

明治時代以降の近代化が進む中、箱根町内で整備された庭園・公園のうち、神奈川県立恩賜公園（旧箱根離宮）、強羅公園、神仙郷の3箇所が平成25年に国登録記念物（名勝）に登録された。その登録を記念して3園の特色、歴史的な意義などを古写真や諸資料を通じて紹介した。

・期 日 平成26年10月4日(土)～平成26年11月30日(日)

・場 所 郷土資料館特別展示室

・関連事業

#### ① 記念冊子

『国登録記念物登録記念 近代箱根の名園  
－恩賜箱根公園・強羅公園・神仙郷－』

定 価 400円(内部販売280円)

販売数 350冊

#### ② ミュージアムリレー

開催日 10月24日(金)

参加者 11名

内 容 企画展展示案内



③ 箱根探訪会「強羅の坂道散歩」

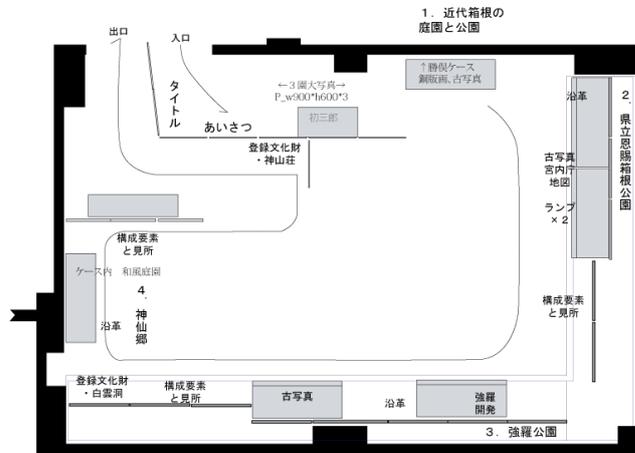
開催日 11月1日(土)

参加者 17名

内容 企画展で紹介した強羅公園、神仙郷(箱根美術館)を訪ねる。

(行程) 強羅駅～太陽山荘(外観)～道祖神～箱根美術館～強羅公園

・入館者数 1,215名



(2) 展示解説(土日祝に実施 実績)

毎週土日及び祝日の10時から11時、13時から14時の間に常設展示の解説を希望する入館者に展示解説を行う。当日在館する学芸員がその都度対応した。

案内実績	実施回数	入館者	受付回数	人数
計	114	3,369	25	98

2 体験学習

資料に触れる、資料を使う、資料を作るなど体験学習を通じて、資料への理解を深めることを目的に行った。

(1) ワークショップ

ア、ミニわらじ作りコーナー

材料は直径1ミリの紙紐を使用し、使用する長さに切り揃えて用意しておき、来館者は自由に材料を使い作成することができる。作成料は無料(入館料のみ)で、出庫数からみると、入館者の13%ほどが作成している。



	入館者 (人)	わらじ紐使用数(本)	備 考
合 計	7,631	966	利用率 12.7%

#### イ、からくり細工にチャレンジ

箱根細工のひとつ、からくり細工(組木細工)を実際に体験してもらう。

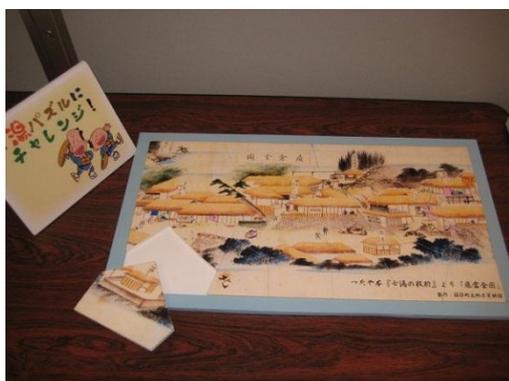
- ・期 間 通年



#### ウ、七湯パズル体験

江戸時代の温泉場の様子を伝える町重要文化財『七湯の枝折』の一部をパズルにし、温泉場の様子を描いた資料に親しんでもらう。

- ・期 間 平成 26 年 2 月 1 日 (土) ～ (通年)



#### エ、彩色写真にチャレンジ

モノクロ写真に色を塗った彩色古写真(横浜写真)の制作過程を疑似体験できるように、印刷した古写真を色鉛筆で彩色する。企画展開催時には、展示に使用した古写真を使用した。

- ・期 間 平成 26 年 3 月 1 日 (土) ～ (通年)



塗り絵風景



上 見本図、左 用紙、右 完成図

## オ、寄木模様のパズルで遊ぼう

伝統的な寄木細工の模様を拡大し、寄木の構造を観察できるようにしたパズルを5種類用意した。夏休み体験広場用に用意し、その後、通年の利用に供した。

- ・ 期 間 平成26年8月 ～ (通年)



## (2) 夏休み体験広場

夏休み期間の行事として、箱根の歴史と文化が体験できるイベントを開催し、夏休みに多い親子連れ観光客の取り込みを図った。

### ①「寄木模様のパズルで遊ぼう」「からくり教室」

- ・ 内 容 「寄木模様のパズルで遊ぼう」：伝統的な寄木細工の模様を拡大したパズルを5種類用意した。  
「からくり教室」：小田原・箱根「からくりパズル」を広める会の指導の下、小学生を中心としたからくり箱の工作教室を行った。
- ・ 日 時 平成26年8月5日(火) 10時～16時
- ・ 場 所 特別展示室、学習室
- ・ 参加者 80名



寄木パズル遊び風景



からくりパズル作り風景

## ②「昔の道具体験①」

- ・内 容 昔の道具に触れ、昔の暮らしを体感してもらう。チェア、山駕籠、石臼、背負い梯子、昔の服、わらじなど。
- ・日 時 平成26年8月7日(木) 10時～16時
- ・場 所 特別展示室
- ・参加者 10名



昔の道具体験①風景

## ③「彩色写真・絵の具でチャレンジ」

- ・内 容 常設体験コーナーの「彩色写真にチャレンジ」で色鉛筆の画材をより難易度が高い絵具で彩色する体験を行った。
- ・日 時 平成26年8月12日(火) 10時～16時
- ・場 所 特別展示室
- ・参加者 4名



彩色写真・絵の具でチャレンジ風景

#### ④「江戸時代のすごろくで遊ぼう」

- ・内 容 江戸時代の「東海道有楽道中双六」を拡大し、昔の遊びを体験する。宿場の名称は現代仮名遣いに直し、東海道五十三次が理解しやすいようにした。
- ・日 時 平成26年8月14日(木) 10時～16時
- ・場 所 特別展示室
- ・参加者 3名



すごろくあそび風景

#### ⑤「昔の道具体験②」「拓本って知ってる？」

- ・内 容 「昔の道具体験②」：昔の道具（おひつ・おひつ入れ、アンカ、黒電話など）に触れ、現代の何の道具に相当するのか考えてもらった。  
「拓本って知ってる？」：館内にあるレプリカの石碑を使用して普段なじみのない拓本の採拓体験をした。
- ・日 時 平成26年8月19日(火) 10時～16時
- ・場 所 資料館エントランス
- ・参加者 30名



昔の道具体験②風景



拓本風景

#### ⑥「わらじを履こう&わらじを作ろう」

- ・内 容 履く体験と作る体験の2つを行った。作る体験は前乳（半分程度）までを事前に作ることで時間短縮を目指した。
- ・日 時 平成26年8月21日(木) 10時～16時
- ・場 所 館内エントランス、学習室
- ・参加者 18名



わらじ作り風景

### ⑦「火を起こしてみよう」

- ・内 容 キリモミ式、ヒモギリ式、マイギリ式の3種類の方法で、火を起こす体験を行った。また縄文時代風の服も用意し、試着できるようにした。
- ・日 時 平成26年8月26日(火) 10時～16時
- ・場 所 資料館玄関前
- ・参加者 10名



火起こし風景

### ⑧「土器の模様は何模様？」

- ・内 容 縄文土器の施文体験と、土器片の接合体験を行った。施文体験では、撚糸等を用い、粘土に模様をつけた。接合体験では、レプリカの土器を立体パズルのように組み立ててもらった。
- ・日 時 平成26年8月28日(木) 10時～16時
- ・場 所 特別展示室
- ・参加者 10名



土器接合体験風景

### (3) 正月飾りを作ろう

仙石原に伝わる正月の玄関飾りを作る講習会を開いた。

- ・日 時 平成26年12月26日(金) 10時～12時
- ・場 所 仙石原文化センター屋外
- ・参加者 15名
- ・講 師 仙石原古式門松保存会

(午後から仙石原古式門松保存会主催の「門松づくり」)



お正月飾り作り風景



全体集合写真

### (4) 正月を楽しむ会

正月の伝統行事である七草がゆ作りと、その試食を通して、箱根地方に伝わる年中行事を体験し、町民や観光客の方に箱根の民俗文化について紹介した。

- ・日 時 平成27年1月6日(火)  
9時30分～ お正月遊び開始(百人一首、かるた、だるま落とし等)  
七草がゆ作りの実演  
11時～ 七草がゆの試食
- ・場 所 郷土資料館前駐車場、郷土資料館エントランス及び特別展示室
- ・協 力 箱根町女性会連絡協議会
- ・参加者 200名



七草がゆ調理



箱根かるた遊び



七草がゆ試食

### 3 箱根探訪会

箱根町内に残る史跡や建造物、自然の植物等の見学を通じて箱根の歴史や自然に対する理解を深めていただくことを目的として、全6回開催した。

#### (1) 第1回箱根探訪会「芦之湯歴史探訪会」

鎌倉時代の紀行文にその温泉の存在が記されるなど古い歴史を持ち、江戸時代には湯治場として広く人気を集めた芦之湯地域を見学した。江戸時代に創業した老舗旅館では、当時から保存されている古い資料を見学したほか、域内に残る阿字ヶ池や東光庵などの史跡を散策した。

- ・開催日時 平成26年5月12日(月) 10:00(受付)～15:00(解散)
- ・案内 野坂優介(当館)
- ・参加人数 17名



東光庵解説風景



きのくにや解説風景

#### (2) 第2回箱根探訪会「塔之澤の近代建築」

箱根の歴史や文化財建造物への理解を深めることを目的として、古くから温泉場として発展をした塔之澤地域に残る、明治・大正期に建てられ現役の旅館として使用されている登録文化財「環翠楼」「福住楼」「一の湯本館」の建物を見学した。

- ・開催日時 平成26年7月15日(火) 9:30(受付)～15:00(解散)
- ・案内 環翠楼職員、福住楼職員、一の湯本館職員、野坂優介(当館)
- ・参加人数 24名



一の湯解説風景



福住旅館風景

(3) 第3回箱根探訪会「二ノ平から木賀の滝不動へ」

ガイドブックではあまり紹介されない二ノ平付近の史跡の見学や自然散策をした。道祖神や庚申塔のように集落の歴史を物語る史跡、南北朝の伝説を伝える新田塚を巡り、最後に観光客がほとんど訪れない木賀の滝不動尊を巡った。

この企画は、ワンコインシリーズ「二ノ平・強羅コース」を活用するコースとして実施した。

- ・開催日時 平成26年8月29日(金) 9:30(受付)～15:00(解散)
- ・案内 渡邊建雄(社会教育指導員)・高橋一公(当館)
- ・参加人数 27名



道祖神前で植物観察



滝不動説明風景

(4) 第4回箱根探訪会「宮ノ下れきし散策」

江戸時代に箱根七湯と数えられた温泉場のうち、宮ノ下、底倉、堂ヶ島が集まり、戦国時代から近代に至るまでの名残が各所に残る宮ノ下周辺地域を見学した。

- ・開催日時 平成26年10月20日(月) 9:30(受付)～15:00(解散)
- ・案内 野坂優介(当館)
- ・参加人数 20名



NARAYA CAFÉ 解説風景



山田屋解説風景

(5) 第5回箱根探訪会「強羅の坂道散歩」

強羅地区は、大正時代に別荘分譲がはじまり、その中心に強羅公園が設けられた。平成 25 年に、強羅公園と戦後に作庭された箱根美術館のある神仙郷が登録文化財に登録されたことから、この2施設を中心に強羅の史跡を訪ねた。

なお、本企画は、ワンコインシリーズを活用する企画であると同時に、企画展「近代箱根の名園」の関連事業として開催された。

- ・開催日時 平成 26 年 11 月 1 日 (土) 9:30 (受付) ~15:00 (解散)
- ・案内 東方之光職員・渡邊建雄 (社会教育指導員)・高橋一公 (当館)
- ・参加人数 15 名



神仙郷風景



諏訪神社説明風景

(6) 第6回箱根探訪会「湯場の歴史探訪会」

湯本は、天平 10 年 (738) の開湯伝承が伝わるなど、箱根の中でも古い歴史を持ち、鎌倉時代には湯坂路の登り口にある宿場として、江戸時代には江戸などからの湯治客でにぎわう湯治場として発展をし、福住旅館などの老舗旅館も多く残っている湯本の湯場地域を見学した。

- ・開催日時 平成 27 年 3 月 3 日 (火) 10:00 (受付) ~15:00 (解散)
- ・案内 野坂優介 (当館)
- ・参加人数 25 名



吉池旅館解説風景



熊野神社解説風景

#### 4 講師派遣事業

諸団体などからの要望に応じたさまざまな講義を通して、箱根の歴史や文化について理解を深めることを図った。

##### (1) 学校講師派遣事業（町内公立学校との連携）

###### ア 箱根の歴史講師派遣授業

町立小学校3校の6年生が箱根の歴史を学ぶ機会として、郷土資料館学芸員が各小学校に出向き授業を行った。年間2時限以上で、内1時限は箱根関所と箱根旧街道について学んだ。

###### (ア) 仙石原小学校

- ・実施日 平成26年4月18日、7月24日、10月7日、12月5日
- ・内容 先史時代の箱根、関所（担当：野坂。4月、7月、10月）  
箱根の年中行事（担当：高橋。12月）

###### (イ) 箱根の森小学校

- ・実施日 平成26年7月17日、9月25日
- ・内容 関所、箱根の年中行事（担当：高橋。7月、9月）

###### (ウ) 湯本小学校

- ・実施日 平成26年4月17日、9月8日、
- ・内容 先史時代の箱根、関所（担当：野坂。4月、9月）

###### イ わらじ作りと箱根旧街道を歩く

町立小学校3校の6年生がわらじを作り、作ったわらじで箱根旧街道の石畳を歩く体験を行った。資料館ボランティアとともに製作指導、歩行時の史跡の解説を行った。

(7) 仙石原小学校

・ 日 時 平成 26 年 6 月 17 日 9 時～15 時



(4) 湯本小学校

・ 日 時 平成 26 年 6 月 26 日 9 時～15 時



(7) 箱根の森小学校

・ 日 時 平成 26 年 7 月 14 日 9 時～15 時



(エ) わらじ歩き体験 (三校合同)

・ 日 時 平成 26 年 7 月 22 日 10 時～13 時



(2) 自治学習出張講座

ア 函嶺白百合学園中学校 (わらじ作りと箱根旧街道)

白百合学園中学から依頼があり、白百合学園に出向き、中学2年生35名を対象に授業・体験を行った。その後、甘酒茶屋から恩賜公園まで(わらじではケンペルバーニーの碑まで)を歩く体験も行った。

(ア) 歴史授業

- ・日 時 平成26年10月20日  
15時～16時



(イ) わらじ作り

- ・日 時 平成26年10月23日  
9時～15時



(ウ) わらじ歩き

- ・日 時 平成26年10月24日 10時～15時



イ 湯河原町立湯河原小学校 (わらじ作り)

湯河原町立小学校から依頼があり、小学校に出向き体験を行った。

(ア) わらじ作り

- ・日 時 平成26年7月4日 9時～15時
- ・対 象 6年児童80名・6年生の保護者

(3) その他

回	月	日	人数	内容及び受講者	種別
1	5	18	400	史跡案内 箱根森林浴ウォーク ガイドウォークほか	依頼
2	5	29	6	史跡案内(野外学習) 東京学芸大学附属大泉小学校	依頼
3	5	29	11	展示解説 港区立芝浦小学校	依頼
4	6	6	23	箱根の歴史講演 やまぼうしの会	依頼
5	6	19	15	展示解説 キャプラー	依頼
6	6	19	15	展示解説 Jプレゼンスアカデミー	依頼
7	7	18	22	史跡案内 自然に親しむ運動「江戸時代の東海道を歩く」	依頼
8	7	24	30	箱根の歴史講演 小田原箱根商工会議所箱根青年部	依頼
9	9	5	22	箱根の歴史講演 法政大学フィールドスタディ	依頼
10	9	12	15	展示解説 秦野歴史おこしの会	依頼
11	9	12	20	展示解説 日本大学生物資源学部(博物館実習)	依頼
12	10	2	17	展示解説 山王道地区年金友の会	依頼
13	10	3	13	箱根の歴史講演 観光講演会 (一財)箱根町観光協会	依頼
14	10	24	7	展示解説 ミュージアムリレー 県西地域博物館連絡協議会	依頼
15	10	25	50	展示解説 箱根コミュニティカレッジ	依頼
16	11	18	10	史跡案内「寺社仏閣めぐり」 (公財)箱根町文化・スポーツ財団	依頼
17	1	15	20	体験学習「昔のくらし」 函嶺白百合学園小学校	自治
18	3	6	14	体験学習「昔のくらし」 町立湯本小学校	依頼
19	3	12	16	展示解説 健美会	依頼
20	3	15	12	展示解説 歴友会	依頼

## 5 学習活動の支援

学習意欲のある方々の活動を直接支援することを図った。

### (1) 石造物を調べる会

館内サークルによる、町内石造物調査。住民参加の調査事業として行うもので、これまで調査が行われていない国道1号沿いの石造物について悉皆調査を行う。

本年度は宮ノ下(宮ノ下・底倉)の社寺などの石造物を調査した。

- ・活動日 原則として毎月第2金曜日開催
- ・会員 9名

### (2) ボランティア活動

郷土資料館の活動に興味のある方に対し、箱根町の歴史と文化、資料館の所蔵資料に対する理解を深めていただくためにボランティアを受け入れていく。

- ・実施内容 展示作成・設置補助、体験学習の補助、図書及び収蔵資料の整理などを行う。
- ・活動日 毎月第1、第3木曜日
- ・登録者 7名

### (3) 博物館実習生の受け入れ

学芸員資格取得に必要な博物館実習を希望する大学生を受け入れ、資料館業務を体験してもらった。

- ・実施期間 平成26年8月18日(月)～8月28日(木)(全9日)
- ・内 容 歴史系実習、民俗系実習、考古系実習、教育普及系実習、展示計画実習
- ・受入人員 1名



### (4) 幼稚園研修の受け入れ

異業種の体験を通して社会的視野を広げ、教育活動に生かすことを目的に幼稚園側から依頼があったもの。

- ・実施日 平成26年8月12日(火)
- ・内 容 夏休み体験広場の補助(彩色写真・絵の具でチャレンジ、江戸時代のすごろくで遊ぼう)をしてもらった。
- ・受入人員 1名



### (5) 箱根中学校職場体験学習の受け入れ

社会参加による地域社会への気付きや社会の一員としての自覚を高めることを目的に学校側から依頼があったもの。

- ・実施日 平成26年10月28日(火)
- ・内 容 資料館受付での切符売りや、収蔵庫整理を行った。
- ・受入人員 2名

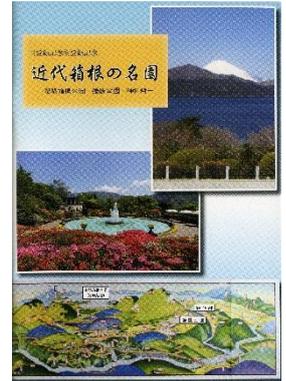
## 6 出版事業

印刷物などを通して広く箱根の歴史や文化についての情報発信することを図った。

### (1) 本年度出版物

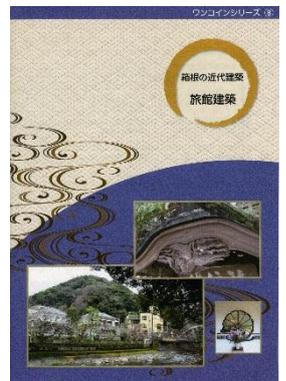
#### ア 近代箱根の名園 恩賜箱根公園・強羅公園・神仙郷

- ・内 容 特別展示『近代箱根の名園』の関連冊子として販売。  
3園のそれぞれの特色や歴史的な意義などを古写真や諸資料を通じて紹介した。
- ・ 出版日 平成 26 年 10 月 4 日



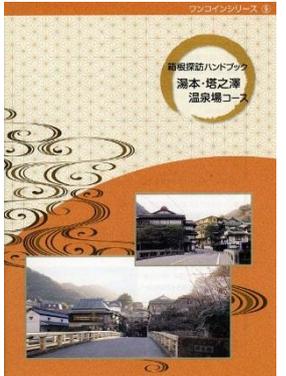
#### イ One Coin シリーズ⑧ 近代建築 旅館建築

- ・内 容 箱根は自然や温泉に恵まれ、江戸時代には箱根七湯と呼ばれる7箇所温泉場が湯治客らによってにぎわいを見せ、その影響もあり温泉場の開発、そして多くの旅館やホテルが建設された。その中で今回は近代化を進める中で建てられた旅館建築のうち、国の重要文化財や登録文化財になっているものを紹介した。
- ・ 出版日 平成 27 年 3 月 1 日



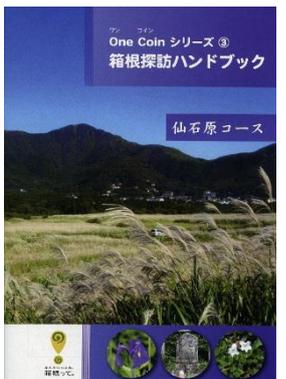
#### ウ One Coin シリーズ⑨ 箱根探訪ハンドブック 湯本・塔之澤 温泉場コース

- ・内 容 湯本・塔之澤の両温泉は、江戸時代には「箱根七湯」と呼ばれる温泉として知られた、箱根を代表する温泉場である。観光の交通の要所として重要な役割を果たしてきた背景や、歴史的な遺産を中心にまとめた。
- ・ 出版日 平成 27 年 3 月 1 日



#### エ One Coin シリーズ③ 箱根探訪ハンドブック 仙石原コース (増刷)

- ・内 容 平成 24 年 3 月 10 日の初版に、内容を一部改め、増刷した。
- ・ 出版日 平成 26 年 9 月 10 日



## (2) 過去の出版物

## ア 箱根叢書

No	タイトル名	著者	発行年月
1	箱根関所物語	加藤利之	1985.3
2	箱根の鳥	箱根野生鳥類調査団	1985.3
3	箱根の植物	松浦正郎・佐藤勝信	1985.3
4	はこね昔がたり	勝俣孝正・加藤利之・田代謙二	1986.3
5	箱根を歩くー自然と歴史を訪ねてー	箱根の自然と文化研究会	1986.3
6	箱根の魚類	栗本和彦・上妻信夫 石原龍雄・橘川宗彦	1986.3
7	箱根を巡る古城30選	小田原城郭研究会	1987.3
8	箱根の文学散歩	箱根文学研究会	1987.3
9	箱根細工物語ー漂泊と定住の木工芸ー	岩崎宗純	1988.3
10	箱根の逆さ杉	大木靖衛・袴田和夫・伊東博	1988.3
11	はこね昔がたりⅡ	安藤正平・澤田安蔵	1988.3
12	仙石原湿原の四季	井上香世子 他	1988.8
13	箱根の石仏	澤地弘	1989.3
14	箱根の昆虫ーはこねを食べる妖精たちー	佐藤勝信	1989.7
15	サルのごぶとんー箱根山動物ノートー	田代道彌	1990.3
16	早雲寺 ー小田原北条氏菩提所の歴史と文化ー	早雲寺研究会	1990.3
17	改訂版 箱根を歩く	箱根の自然と文化研究会	1991.3
18	箱根と外国人	児島豊	1991.3
19	あるく・みる 箱根八里	田代道彌	1991.3
20	はこね昔がたりⅢ	安藤正平	1992.3
21	箱根の樹木	八田洋章	1992.3
22	旅の詩人 宗祇と箱根	金子金治郎	1993.1
23	箱根火山探訪	袴田和夫	1993.3
24	箱根二十湯ーやさしい温泉入門ー	平野富雄	1994.3
25	箱根山の近代交通	加藤利之	1995.3
26	あるく・見る 萬葉集「足柄箱根歌」	田代道彌	1996.3
27	箱根旧街道「石畳と杉並木」	大和田公一・伊藤潤	1997.3
28	中世の箱根山	岩崎宗純	1998.3
29	ケンペル・バーニー祭 ー箱根自然保護運動のあゆみー	ケンペルとバーニーを讃える会	1998.1
30	箱根Q&A125ーその歴史と自然ー	箱根叢書刊行企画委員会	2000.3

イ 郷土資料館資料集

No	タイトル名	発行年月日
1	旧大平台名主藤曲家近世文書	1994. 3. 31
2	箱根彩景－古写真に見る近代箱根のあけぼの－	2002. 3. 20

ウ 調査研究報告書

No	タイトル名	発行年月日
1	「湯治の道」関係資料調査報告書	1997. 3. 31
2	「街道」関係資料調査報告書	2001. 3. 31

エ 企画展展示図録等

No	タイトル名	発行年月日
1	早雲寺の名宝	1984. 10. 28
2	早雲寺の名宝	1985. 10. 27
3	和宮様香華院 阿弥陀寺の遺宝	1986. 10. 27
4	箱根神社の歴史と祭り	1987. 10. 25
5	興福院と賽の河原	1988. 10. 20
6	伝統的工芸品指定五周年記念 箱根寄木細工	1989. 10. 29
7	連歌師宗祇－その生涯と終焉の地箱根湯本－	1990. 11. 3
8	箱根旧街道石畳と杉並木	1992. 11.
9	早雲寺の歴史と文化	1993. 10. 30
10	箱根の鉄道－馬車鉄道から山岳鉄道開通まで－	1994. 7. 21
11	浮世絵特別公開 箱根の物語絵－金太郎・箱王丸・勝五郎と初花－	1994. 10. 29
12	明治の模範村 箱根権現領旧元箱根村の歴史	1995. 7. 20
13	おじいさん・おばあさんたちの学校	1995. 10. 27
14	開け行く別荘地・箱根	1996. 10. 25
15	描かれた箱根－絵画資料で見る箱根の原風景－	1997. 7. 26
16	外国人の見た Hakone－避暑地箱根の発見－	1997. 10. 31
17	白川洗石とその周辺－明治大正期を生きた木象嵌細工師たち－	1998. 10.
18	箱根町の指定文化財	2000. 10.
19	没後五百年遠忌 旅の詩人－連歌師宗祇－	2001. 8. 1
20	箱根八里－難所東坂を登る－	2001. 10. 27
21	箱根八里地図	2001. 10. 27
22	箱根は箱根－小説「箱根山」の風景－	2002. 10. 12
23	福住旅館金泉楼・萬翠楼－明治の息吹を今に伝える建築と書画	2003. 9. 27
24	七湯の枝折	2004. 9. 25
25	HAKONE1956…50年前の箱根	2006. 9. 30

26	箱根山中 村むらの仏たち	2007. 10. 25
27	まつりの風景～箱根の年中行事・正月行事から春祭りまで～	2009. 10. 17
28	東海道山の関所・箱根/うみの関所・新居	2010. 10. 20
29	まつりの風景Ⅱ～箱根の年中行事・初夏から歳末まで～	2012. 9. 29
30	バス、天下の険をいく ～箱根の自動車100年～	2013. 9. 30

(5) 館報

全31号 第1号 1984年3月 ～第31号 2015年3月 但し、第2号、3号、4号、5号、6号、7号、9号は、調査活動報告書との合併号
--

(6) One Coin シリーズ

No	タイトル名	発行年月日
1	One Coin シリーズ① 箱根探訪ハンドブック 芦ノ湖一周コース	2009. 5. 15
2	One Coin シリーズ② 箱根探訪ハンドブック 芦之湯コース	2009. 12. 25
3	One Coin シリーズ④ 箱根探訪ハンドブック 宮城野コース	2013. 3. 31
4	One Coin シリーズ⑤ 箱根温泉の歴史	2013. 3. 31
5	One Coin シリーズ⑥ 箱根探訪ハンドブック 二ノ平・強羅コース	2014. 3. 31
6	One Coin シリーズ⑦ 近代建築 富士屋ホテル	2014. 3. 31

### Ⅲ 郷土資料の調査、収集・活用

#### 1 調査・整理活動

##### (1) 民俗調査

##### ア 石造物調査

##### (ア)活動内容

これまで石造物調査が行われていない国道1号沿いなどを、ボランティア調査員とともに調査を進める。

##### (イ)調査員

担当学芸員及び石造物を調べる会会員（ボランティア）9名。

##### (ウ)経過

5月 試行調査（温泉幼稚園周辺）

7月 ガイダンス（郷土資料館学習室）

8月 第1回調査（宮ノ下箱根神社）

9月 整理（郷土資料館学習室）

10月 調査（国道1号～宮ノ下箱根神社～宮ノ下熊野神社）

11月 整理（郷土資料館学習室）

12月 調査（宮ノ下熊野神社）

1月 整理（郷土資料館学習室）

2月 調査（常泉寺）

### 3月 整理

#### (エ) 成果

本年度は宮ノ下集落内にある石造物を調査した。試行錯誤の段階で、石造物の種類、数、外観（スケッチおよび写真）、計測、文字の判読を行った。

12月からは毎月第2金曜日を活動日として定め、偶数月は現地調査、奇数月は整理作業と決めた。これまでに50基ほどの調査を実施し、20基についてはカードを作成した。今後は、他の文献資料や過去の写真などの情報と一致させていく。

#### (2) 歴史資料

受入資料の整理・収蔵庫への配架、写真資料のデジタル化など

## 2 資料の受け入れ

### (1) 寄贈資料

登録	資 料 名	寄贈者	種別	点数
6/29	箱根大名行列初期の写真	個人	歴史	9
2/4	松永安左エ門（耳庵）の書及び写真	小宮義一	歴史	4
3/18	古写真、地券	個人	歴史	7
3/26	印半纏	個人	民俗	36

### (2) 寄託資料

登録	資 料 名	寄託者	種別	点数
3/19	磁器	福住治彦	民俗	13

### (3) 図書資料 他

寄 贈 者	名 称
岡田美術館	喜多川歌麿 深川の雪
日野市立新撰組のふるさと歴史館	日野市立新撰組のふるさと歴史館叢書 第11輯 「巡回特別展 新撰組誕生と清河平八」
神奈川近代文学館	生誕105年 太宰治展 語りかける言葉
神奈川県環境科学センター	神奈川県内河川の魚類
馬事文化財団	馬の博物館 研究紀要 第19号
山川出版社	山川ビジュアル版 日本史図録
東京都江戸東京博物館	東京都江戸東京博物館 調査報告書 第28集 隅田川と本所・向島 開発と観光
鉢形城歴史館	北条氏邦とその時代
二本松市教育委員会	二本松市文化財調査報告書第54集 二本松城跡 21
世田谷区立郷土資料館	世田谷叢書 第8集 御用留一

かながわ考古学財団	かながわ考古学財団調査報告 302 畑久保西遺跡
大分県宇佐市教育委員会	市内遺跡発掘調査事業報告書 第8集 別府遺跡群2
文化庁文化財部参事官(建造物担当)	登録有形文化財建造物目録
藤沢市文書館	ジュニア版 藤沢市史1 藤沢のいま・むかし
馬の博物館	特別展 歌舞伎と馬
温泉地学研究所	神奈川県温泉地学研究所報告 第45巻
藤沢市	大地に刻まれた藤沢の歴史IV 古墳時代
寒川町	寒川町史調査報告書 19
佐久市教育委員会	佐久市五郎兵衛記念館 古文書調査報告書 第7集
成田山書道美術館	成田山文化財団年報 第5号
徳島県	第12回全国歴史の道会議 徳島県大会報告書 阿波遍路道
小田原市郷土文化館	小田原市郷土文化館研究報告 第50号
長野市立博物館	長野市立博物館収蔵資料目録 歴史15 購入資料3 野本家文書その2
大田区立郷土資料館	大田区立郷土資料館 紀要 第20号
アーク・フィールドワークシステム	神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書 24 河原口坊中遺跡第6次調査
広和印刷株式会社	近世以前の土木・産業遺産
東海大学教育研究個別プロジェクト研究	近代教育史叢書2 栃木県安蘇郡閑馬村・閑馬小学校資料目録
神奈川県博物館協会	神奈川県博物館協会 加盟館園職員名簿 2014
神奈川県温泉地学研究	神奈川県温泉地学研究観測だより 通巻第64号
洋泉社	歴史 REAL 江戸大図鑑
蕃山房	よみがえるふるさとの歴史4 湯けむり復興計画 江戸時代の飢饉を乗り越える
横浜ウォーカー	横浜ウォーカー 2014 4月号
宝英地所 武蔵文化財研究所	神奈川県相模原市 相原八幡西遺跡第4地点
吾妻考古学研究所	神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書 25 神成松遺跡第3地点
国立歴史民俗博物館	国立歴史民俗博物館研究報告 第187集
町田市教育委員会	国指定史跡高ヶ坂石器時代遺跡 保存管理計画
東京家政大学博物館	東京家政大学博物館 紀要 第19集
鎌倉市教育委員会	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 30 平成25年度発掘調査報告書 第2分冊
奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター	埋蔵文化財ニュース 157
信州農村開発史研究所	水と村の歴史 信州農村開発史研究所紀要 第27号
大手前大学史学研究所	大手前大学史学研究所紀要 第9号
横浜開港資料館	横浜開港資料館 第32号
斎藤建設	神奈川県鎌倉市 長善寺遺跡 発掘調査報告書
川崎市岡本太郎美術館	平成24年度 川崎市岡本太郎美術館年報

横浜みなと博物館	開館 25 周年記念展 船の旅と横浜港 秘蔵コレクション
共和開発株式会社	下常盤遺跡 発掘調査報告書
渋沢栄一記念館	青淵 第 787 号 10 月号
横浜市史資料室	横浜市史資料室 紀要 第 4 号
秦野市・中井町・二宮町・大磯町広域行政推進協議会	限定版特製冊子 湘南軽便鉄道一世紀記念事業 湘南を走った小さな汽車
国立ハンセン病資料館	不自由者棟の暮らし ハンセン病療養所の現在
全国史跡整備市町村協議会	全史協会報 平成 25 年度 全国史跡整備市町村協議会
小田原市教育委員会	遺跡講演会 千代古代寺院出土の木簡を考える
厚木市教育委員会	厚木市埋蔵文化財調査報告書 及川十二天上遺跡 第 2 地点
玉川文化財研究所	小田原城三の丸 大久保弥六郎邸跡第Ⅵ地点
湘風舎	湘南百選 2014 年春号
神奈川文学振興会	神奈川近代文学館年報 2013 年度
国立公文書館蔵	検夫爾「日本誌」
相模原市	相模原市 現代テーマ編～軍都・基地そして都市化～
帝国書院	図説 日本史通覧
メディアックス	常勝無敵「鉄の結束」を誇った武田信玄と武田二十四将
神奈川県立 生命の星・地球博物館	神奈川県立 生命の星・地球博物館 年報 第 19 号
石だたみの会	石だたみ 第 19 号
(公財) 箱根町文化・スポーツ財団	創立 30 周年記念誌 平成 24 年 1 月
足柄下保護司会	創立 60 周年記念誌 60 年のあゆみ
横浜植物会	横浜植物会年報 43 号
ポーラ美術館	モネ、風景をみる眼 19 世紀フランス風景画の革新
湘南考古学研究所	小田原城下幸田跡第Ⅴ地点発掘調査報告書
豊橋市二川宿本陣資料館	旅セヨ乙女 江戸時代、おんなたちの旅
沼津市明治史料館	沼津兵学校とその時代
昭和館	昭和館館報 平成 25 年度
川崎市教育委員会	神奈川県川崎市 橋樹官衛遺跡群の調査
國學院大學文学部考古学研究室	長野県安曇野市 穂高古墳群 2013 年度 発掘調査報告書
小田原市地方市史研究	小田原市地方市史研究 27
品川区立品川歴史館	品川から世界へ サムライ海を渡る 幕末明治の日本と外交使節団
理論社	日本の祭り ②関東編
神奈川県考古学会	第 38 回 神奈川県遺跡調査・研究発表会
八王子市郷土資料館	八王子の産業ことはじめ
日本博物館協会	全国博物館園職員目録

厚木市郷土資料館	厚木市郷土資料館 第17回 化粧 美の演出、社会的シンボル、コミュニケーション手段
唐津市教育委員会	唐津市文化財調査報告書 第169集 鶴殿石仏群保存対策調査報告書
国際浮世絵学界	浮世絵芸術
田尻町内教育委員会	田尻町内遺跡群発掘調査概要 14
神奈川県立公文書館	平成25年度 神奈川県立公文書館年報
渋沢史料館	渋沢史料館だより
神奈川県立歴史博物館	神奈川県立博物館研究報告 人文科学 第41号
日本ユネスコ協会連盟	世界遺産年報 2015
DeAGOSTINI	週刊 日本の城 No.102
鈴木茂	江戸城石材提供地について
小和田哲男	2014 全120名の武将から知る戦国総観 戦国武将列伝
大雄山最乗寺	大雄 2014年新春号(通巻137号)
控之帳刊行会	控之帳 46号
国際二宮尊徳思想楽会	報徳学 No.11
「関帝廟と横浜華僑」編集委員会	関聖帝君 鎮座150周年記念 関帝廟と横浜華僑
ケンペルとバーニーを讃える会	ケンペルとバーニーを讃える会 レムゴ訪問写真関係
日本橋コミュニティセンター	日本橋
芦之湯観光協会	歴史の里 芦刈まつり 第二十二回
相洋高等学校 史跡研究部	「国際観光地箱根を支えた裏方の歴史」
相模原市立博物館	相模原市の遺跡2014 境川流域の開拓と暮らし
渋沢研究会	渋沢研究 第27号
静岡市立登呂博物館	平成26年度 特別展 八ヶ岳山麓から駿河湾まで
学研	戦国驍勇伝
(公財) かながわ考古学財団	考古学から見る中世都市鎌倉の海浜地域
小田原城天守閣	いにしへの小田原 ～遺跡から見た東西文化の交流～
パスコ	神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告書 上粕屋・秋山上遺跡
平塚市真田北金目遺跡調査会	平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書10 第7分冊
横須賀市自然博物館・人文博物館	横須賀市博物館報 No.61
大磯町郷土資料館	大磯町年報 平成25年度
東村山ふるさと歴史館	特別展 徳蔵寺展 元弘の板碑と寺にまもられてきた文化財
座間市教育委員会	座間むかしむかし 第36輯
平塚市博物館	ガイドブック24 湘南の樹木
大和市教育委員会	やまと物語り 大和の衣
斎藤茂吉記念全国大会運営委員会	斎藤茂吉記念歌集

神奈川県東海道ウォークガイドの会	神奈川の宿場を歩く
箱根ガラスの森美術館	華麗なるヴェネチアン・グラス 祝宴の器
秦野市教育委員会	秦野市文化財調査報告書 14 秦野の遺跡 6 東田原中丸遺跡第 4 次調査
大成エンジニアリング株式会社	神奈川県埋蔵文化財調査報告書 21 上粕屋・鳥居崎遺跡
東京電力株式会社神奈川工事センター	神奈川県相模原市 川尻中村遺跡 第 5 地点
板橋区立郷土資料館	発掘調査成果から見た板橋区の原始・古代・中世
日本大学生物資源科学部博物館	日本大学生物資源科学部博物館 博物館報 No. 23
海老名市建設部道路整備課	神奈川県海老名市 本郷中谷津遺跡第 18 次調査
タクトホーム	神奈川県海老名市 国分尼寺北方遺跡第 46 次調査
横須賀市	史市研究 横須賀 第 13 号
御殿場市教育委員会	静岡県御殿場市 中田遺跡 (Ⅷ次調査)
猪名川町教育委員会	多田銀銅山遺跡 (銀山地区) 詳細調査報告書 役所関連遺跡と生産遺跡の調査
新居関所史料館	新居関所史料館企画展 新居関所面番所 建物の歩んだ歴史と昭和の大修理
伝統文化活性化国民協会	伝統文化 2014 春 No.51
茅ヶ崎市教育委員会	丸ごと 100 年 茅ヶ崎を知る 100 の機会
交通新聞社	散歩の達人 平成 25 年 7 月 208 号
東急リゾートサービス	Harvest Times 2014 年 12 月号
横浜市歴史博物館	絵巻でみる事件 百姓一揆絵巻 火事凶巻
小学館	サライ 586 号 2014 年 7 月
川崎市市民ミュージアム	カワサキ・シティ 日本を牽引する街
大成エンジニアリング	神奈川県相模原市 川尻中村遺跡 第 5 地点
鎌倉文化研究会	鎌倉 第 118 号
文明開化期の相武地域史研究会	相武地域史研究会 第 2 回シンポジウム 維新の動乱と神奈川道と海の視点から 報告書
西東社	地図と写真から見える! 鎌倉・横浜 歴史を愉しむ!
甲斐素純	伊勢参宮日記を読む 北部九州編
国土社	最新 就学旅行の本 箱根・鎌倉 富士山
山北町地方史研究会	足柄乃文化 第 41 号
伊勢原市	いせはら 史跡と文化財のまち
大和市役所文化スポーツ部文化振興課	大和市史料叢書 14 「高下日記」第 6 集
神奈川県教育委員会 神奈川県立歴史博物館 茅ヶ崎市教育委員会	平成 26 年度かながわの遺跡展・巡回展 発掘された御仏と仏具 神奈川の古代・中世の仏教信仰

(受付順)

### 3 資料の利用

#### (1) 貸出

貸出日	資料名	方法	貸出先	使用目的	
3/28	一夜湯治一件書類合巻帳、規定書、つたや本『七湯の枝折』より巻2、巻9、寄木細工箆笥	貸出	神奈川県立歴史博物館	特別展「江戸時代 かながわの旅―「道中記」の世界―に出品	展示

#### (2) 提供

貸出日	資料名 (すべて写真)	方法	貸出先	使用目的	
4/25	中村月嶺・平林月海作銅版画「神奈川県下箱根電燈発電所之景」、「宮ノ下温泉奈良屋平治」、「相模国湯本温泉略図」、「底倉温泉蔦屋平左衛門」、「仙石屋 冷温汲瀑及吹上湯」、「木賀温泉神代楼亀屋新太郎」	複写	個人	調査のため	
5/7	つたや本『七湯の枝折』より「芦の湯風呂内の全図」、広重『道外茶番膝くり毛はこね』、『箱根七湯図会』の内「芦之湯」、「東海道十一 五十三次箱根」、芳盛『東海道箱根』、三代広重『東海道五十三次十二箱根山中』	複写	(株)スローハンド	NHK BS プレミアム『浮世絵ツアー東海道五十三次』	T V
5/8	二代国貞『東海道ハコ子湯治』 広重『箱根七湯図会』～(全7点)	複写	(株)森トラスト・ホテルズ & リゾーツ	LAFORÉT SUMMER EXPO 2014	
5/26	絵巻 東海道五十三次 2ヶ所	複写	神奈川県立歴史博物館	国際浮世絵学会発行『浮世絵芸術』168号掲載論文のため	
6/4	関所泥絵、芳盛『東海道箱根』	複写	(株)ボトム	BS-TBS「ひとまち紀行」	T V
6/5	北条氏康肖像	複写	(株)スリーシーズン	西東社『カラー版イチから知りたい 家紋と名字』	
6/13	『紙本著色石曳図屏風』	複写	静岡県教育委員会文化財保護課	伊豆石丁場遺跡の調査報告書	
6/20	『東海道名所図会』より「箱根名品挽物細工」(小間物屋)、つたや本『七湯の枝折』より「湯本の全図」、小間物屋「底倉全図」、芳虎『東海道箱根畑』	複写	(株)アネマックス	NHK 総合「ひるブラ」(箱根町の寄木細工)	T V

6/20	精進が池	複写	(株)スターツ出版	スターツ出版『オズマガジン』増刊「オズマガジントリップ」	
6/29	山口家写真集より山口正造氏肖像	複写	NHK 横浜放送局	NHK BS プレミアム新日本風土記 箱根	T V
7/4	『東海道名所図会』より「箱根湯本の挽物細工店」	複写	日本放送協会 大型企画開発センター	NHK 『もういちど、日本 寄木細工』	T V
7/23	北条早雲肖像、北条氏康肖像	複写	(株)コミュニティネット	『2015年戦国武将年譜カレンダー』（仮称）、『2015戦国手帳』（仮称）	
7/25	松の茶屋（田舎家）	複写	中間市文化遺産活性化実行委員会	「遠賀川と中間の歴史を」	
7/25	七福神（箱根細工）	撮影	(株)トスプランニング	「日本探Qバラエティークイズ！それマジ！？ニッポン」	T V
7/31	貞秀『東海道箱根三枚橋景勝』、芳盛『東海道箱根』、広重『七湯方角略図』、古写真（畑宿明治18年）ほか4点	複写	(株)ユーコム	BS 朝日「電動アシスト自転車でどこまでいける？！」	T V
8/5	資料館外観	複写	(株)ナイスク	(株)国土社「修学旅行の本③箱根・鎌倉」	
8/11	民具写真（道中笠、合羽、わらじ、手甲、財布、早道、銭刀、行商人用の旅枕、旅日記、旅行用心集）	撮影	(株)洋泉社	「歴史 REAL 特大号 江戸大図鑑」	
8/20	天然記念物写真（ハコネサンショウウオ、ハコネコメツツジ、ヒメシヤラ純林）、広重 保永堂版『東海道五十三次箱根の内箱根湖水図』	複写	(株)ナイスク	(株)国土社『修学旅行の本③箱根・鎌倉』	
8/25	大名行列写真（戦前）8点	複写	(一財)箱根観光協会	観光協会ホームページ（大名行列）	
9/18	紙本著色石曳図屏風	複写	(株)サガミヤ	『江戸城石材提供地に就いて』（仮題）	
9/18	北条早雲肖像	複写	オフィス・ゆう	『テーマで調べるクローズアップ日本の歴史』第5巻	

9/19	東光庵、元箱根石仏群	撮影	(株)NHK グローバルメディアサービス	NHK-BS「箱根ハイキング大百科」	T V
10/10	広重隸書版『東海道五十三次 箱根』、保永堂版『東海道五十三次の内箱根湖水図』	複写			
10/6	仙石原湯立獅子舞の画像4点	複写	(株)ゴーシュ	『日本の祭り』	
10/17	・七湯の枝折 2-1. 湯本の全図 ・七湯の枝折 8-3. 蘆の湯風呂内の全図	撮影	(株)エイエイピー 東京支店	『ハーベストタイムズ 12月号』	
10/17	「箱根山」のポスター	撮影	静美杏	取材(参考資料)	
10/10	開発当初の箱根ロープウェイ(パンフレット写真) 箱根彩景より6-17、6-18	複写	(株)フジテレビジョン	もしもツアーズ	T V
10/30	つたや本『七湯の枝折』より「底倉全図」	複写	日本経済新聞社	日本経済新聞	
11/4	北条氏康肖像	複写	(株)悠工房	(株)新学社「社会科資料集6年」	
11/4	函嶺洞門関連写真	複写	箱根町都市整備課	函嶺洞門バイパス完成式典展示	
11/7	北条氏直肖像	複写	(株)戎光洋出版	『図解 真田一族』	
11/8	「てくてく東海道 宿場探訪」マップ	複写	神奈川県政策局 情報企画部情報企画課	「てくてく東海道 宿場探訪マップ」(オープンデータ)	
11/13	つたや本『七湯の枝折』より「芦之湯風呂内の全図」、広重『箱根七湯図会』より「芦之湯」、『七湯方角略図』	複写	(株)ホールマン	テレビ東京『昼めし旅』	T V
	北条氏康肖像、北条氏政肖像	複写	(株)メディアックス	『常勝無敵 鉄の結束を誇った武田信玄と武田二十四将』	
				『強い武将たちは「必勝の戦法」を持っていた! 戦国武将 必勝の戦法』	

12/2	旅道具（旅行用心集、振り分け荷物、ワラジ、手甲、道中笠、道中合羽、弁当箱、水筒、行商人用の旅枕、財布、早道、銭刀、印籠、矢立）	複写	(有)海鳥社	甲斐素純『北部九州の伊勢参宮』	
	諸国温泉一覧、相州箱根塔澤図（大名湯治宿割図）、つたや本『七湯の枝折』より「芦之湯風呂内全図」、広重『箱根七湯図会』全7点、『箱根七湯方角略図』、古写真（小涌谷駅停車場）、「822 YUMOTO HAKONE」	複写	株テレビ朝日映像	BS フジ『絶景温泉』 「箱根の紅葉を愛でる極上温泉」	T V
12/15	北条氏直肖像	複写	株ウッドオフィス	BS 朝日『ニッポン絶景街道』	T V
12/25	北条早雲肖像、北条氏康肖像、北条氏政肖像、北条氏直肖像	複写	株コミュニティネット	読むクリアファイル『戦国相関図（仮称）』、『戦国武将名鑑（仮称）』	
12/27	芳虎『東海道箱根畑』、広重『隸書版 東海道十一 五十三次箱根』、『七湯方角略図』、『箱根湯本福住九蔵宅図』、二代広重『東海道箱根』、「箱根七湯一覧」つたや本『七湯の枝折』より「七湯全図」、「湯本の全図」、「塔の澤全図」、「宮下全図」、「堂ヶ島全図」、「底倉全図」、「木賀の全図」、「芦之湯全図」、「芦之湯風呂内の全図」、古写真「湯本附近山崎村」、「HATA」、「998, HAKONE LAKE」、「（箱根名所）箱根関所ヨリ富士ヲ望ム」、「628HAKONE」「G3FUKUZUMI, YUMOTO」、「箱根旧街道（山駕籠）」、「ハフヤ前のチェア」、「（水力発電所の景_馬車鉄道部分）」、「神奈川県下箱根電燈発電所之景」、「箱根登山電車（小涌谷駅停車場）」、「箱根強羅ケーブル鉄道客車」、「箱根二子山麓」、「1662. HAKONE LAKE」、「1000. HAKONE LAKE」、「二の鳥居」、「バーニー別荘」、「層雲閣」、「福住正兄肖像」、銅版画「相模国湯本温泉略図」	複写	株泉放送制作	BS-TBS『ひと・まち紀行』「箱根編」	T V
1/14	古写真「福住旅館全景」、「湯本全景」	複写			
1/14	大涌谷古写真、芳盛『東海道箱根』	複写	株テレビ朝日映像	テレビ東京『お願いモーニング』	T V

1/16	古写真（旭日橋と福住旅館）	複写	（株）テレビ東京制作	テレビ東京『にっぽん！いい旅』	T V
1/22	広重『箱根七湯図会』より「塔之澤」	複写	（株）極東テレビ台	テレビ東京『そうだ（どっか）にいこう』『いま ふたたびの箱根へ』	T V
2/12	マトリョーシカ	撮影	獨協大学	教育 研究	
2/16	小林清親『箱根山峠甘酒屋』、古写真（大正期の甘酒茶屋）	複写	（株）テレコムスタッフ	BS 朝日「みらい遺産～Human Lands」	T V
2/20	広重『道外茶番膝くり毛 はこね』	複写	（株）グレイル	宝島社 別冊宝島『知られざる徳川家康』	
2/20	新田塚と新田神社 現況写真	複写	（株）戎光祥出版	久保田順一『新田氏三兄弟一義顕・義興・義宗一』	
3/9	北条氏政肖像、北条氏直肖像	複写	（株）メディアアクセス	『徳川家康の生涯と真田一族』	
3/26	北条早雲肖像、北条氏綱肖像、北条氏康肖像、北条氏政肖像、北条氏直肖像	複写	（一社）武道振興會	北条流流鏑馬行事パンフレット掲載（5月号）	
3/26	北条早雲肖像、北条氏綱肖像、北条氏康肖像、北条氏政肖像、北条氏直肖像、北条五代供養塔、早雲寺外観	複写	神奈川新聞社 県西総局	神奈川新聞本紙「戦国北条新聞」掲載（4月9日）	
3/26	唐箕	撮影	個人	研究のため	

「提供方法」凡例
複写：デジタル
撮影：現物などの撮影

「使用目的」凡例（成果品の形状）	
T V：テレビ放映	展示：展示物
無印：印刷物等	

○箱根町立郷土資料館条例

(趣旨)

第1条 この条例は、箱根町立郷土資料館(以下「郷土資料館」という。)の設置、管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 博物館法(昭和26年法律第285号)に基づき、考古資料、民俗資料、文書資料等の箱根の歴史に関する資料を収集、保管及び展示等を行うとともに、これらの資料に関する調査研究と教育普及活動等を行い、町民の文化の向上等に資するため、郷土資料館を箱根町湯本266番地に設置する。

(職員)

第3条 郷土資料館に、館長その他の必要な職員を置く。  
(入館制限等)

第4条 箱根町教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、次の各号のいずれかに該当する場合には、郷土資料館の入館を拒否し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 郷土資料館の施設及び付属設備並びに資料等を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (3) その他郷土資料館の管理上不相当と認められるとき。

(観覧料)

第5条 郷土資料館の展示品を観覧しようとする者は、観覧料を納付しなければならない。

2 観覧料の額は、次表のとおりとする。

区分	観覧料の額(1人1回につき)			
	一般(高校生以上の者)		小学生及び中学生	
	個人	団体 (20人以上)	個人	団体 (20人以上)
一般展示	200円	150円	100円	50円
特別展示	300円以内で町長が定める額			

3 小・中学生(団体は除く。)が土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に観覧しようとするときは無料とする。

(観覧料の減免)

第6条 町長は、前条の規定にかかわらず、町民が社会教育の団体活動として観覧する場合及び町内の学校が教育課程に基づく学習活動として観覧する場合並びに公益その他特に必要があると認めるときは、観覧料を減免することができる。

(観覧料の不還付)

第7条 すでに納付された観覧料は、返還しない。ただし、観覧しようとする者の責めに帰さない理由により観覧できなくなった場合、その他正当な理由がある場合は、この限りでない。

(損害賠償)

第8条 入館者が郷土資料館の施設及び付属設備並びに資料等を損傷し、または亡失したときは、教育委員会の指示に従い、これを原形に復し、またはその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、郷土資料館の管理等に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則 抄

1 この条例は、昭和58年7月21日から施行する。

附 則(平成6年3月22日条例第9号)

この条例は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月29日条例第15号)

この条例は、平成11年4月1日から施行する。ただし、第5条第2項の改正規定は、平成11年7月1日から施行する。

附 則(平成17年6月27日条例第13号)

この条例は、公布の日から施行する。

○箱根町立郷土資料館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、箱根町立郷土資料館条例(昭和58年箱根町条例第6号。以下「条例」という。)第9条の規定に基づき、箱根町立郷土資料館(以下「郷土資料館」という。)の管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 郷土資料館の開館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。ただし、教育委員会が必要であると認めるときは、開館時間を臨時に変更することができる。

(休館日)

第3条 郷土資料館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 毎週水曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する国民の祝日に当たる日を除く。)
- (2) 毎月の最終月曜日(国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは、その翌日)
- (3) 12月28日から翌年1月4日まで

2 教育委員会は、特に必要があると認めるときは、前項に規定する休館日を変更し、又は臨時に休館日を設定することができる。

(入館券の交付)

第4条 郷土資料館の資料(以下「資料」という。)を観覧しようとする者は、入館券(第1号様式)の交付を受けなければならない。

2 入館券の交付を受けた者は、退館の際これを返還しなければならない。

(観覧券の交付)

第5条 観覧料を納付した者に対しては、観覧券(第2号様式又は第3号様式)を交付する。

(観覧料の減免)

第6条 次の各号のいずれかに該当する場合は、観覧料を免除する。

- (1) 町民が社会教育の団体活動として観覧するとき。
- (2) 町内の学校が教育課程に基づく学習活動として観覧するとき。
- (3) 町が主催する資料に関する講演会、研究会等の活動として観覧するとき。
- (4) その他町長が公益上特に必要と認めるとき。

第7条 次の各号のいずれかに該当する場合は、観覧料を減額する。

(1) 町民以外の者が社会教育の団体活動として観覧するとき。

(2) 学校(町内の学校を除く。)が教育課程に基づく学習活動として観覧するとき。

(3) その他町長が特に必要と認めるとき。

第8条 観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減額(免除)申請書(第4号様式)を町長に提出し、その承認を受けなければならない。

(優待券)

第9条 教育委員会は、必要と認める者に対して優待券を発行することができる。

(学習室の利用)

第10条 学習室は、学校教育、社会教育等に関する活動のために利用することができる。

2 学習室を利用しようとする者は、学習室利用申請書(第5号様式)を教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。

(入館者の遵守事項)

第11条 入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

(1) 指定された展示品以外の展示品に手を触れないこと。

(2) 許可なく展示品又は資料を模写又は撮影しないこと。

(3) 定められた場所以外で、喫煙又は飲食をしないこと。

2 前項各号に掲げるもののほか、教育委員会は、必要に応じ入館者の行為を制限することができる。

(資料の館外貸出し)

第12条 博物館、図書館、学校その他教育委員会が適当と認めた者は、資料の館外貸出しを受けることができる。

2 資料の館外貸出しを受けようとする者は、教育委員会に資料館館外貸出承認申請書(第6号様式)を提出し、その承認を受けなければならない。

3 資料の館外貸出期間は、貸出しを受けた日から30日以内とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、これを延長することができる。

4 教育委員会は、館務の都合により必要があるときは、貸出期間中であっても、貸出しをしている資料の返還を求めることができる。

5 資料の館外貸出しを受けた者が、貸出期間中に資料を損傷又は亡失したときは、教育委員会の指示に従い、これを原形に復し、又は損害を賠償しなければならない。

(館外貸出資料の利用方法)

第13条 資料の館外貸出しを受けた者は、当該資料を承認を受けた利用の目的以外に利用してはならない。

(資料の寄贈及び寄託等)

第14条 教育委員会は、資料の寄贈又は寄託を受けることができる。

2 寄託を受けた資料の館外貸出しは、寄託者の承諾がある場合のほかは、行うことができない。

3 教育委員会は、資料の寄贈を受けた場合にあっては寄贈資料受領書(第7号様式)、資料の寄託を受けた場合にあっては資料受託書(第8号様式)を交付するものとする。

(委任)

第15条 この規則に定めるもののほか、郷土資料館の管理に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和58年7月21日から施行する。

附 則(平成18年2月20日教委規則第4号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

## ○箱根町立郷土資料館処務規程

(趣旨)

第1条 箱根町立郷土資料館(以下「資料館」という。)における処務については、この訓令の定めるところによる。

(事務分掌)

第2条 資料館における事務分掌は、おおむね次のとおりとする。

(1) 文書の收受、発送、編さん及び保存に関すること。

(2) 予算に関すること。

(3) 物品の収納及び保管に関すること。

(4) 資料館の庶務に関すること。

(5) 施設及び設備の維持管理に関すること。

(6) 観覧券及び物品等の販売にかかる収納に関すること。

(7) 施設及び資料等の使用、利用承認に関すること。

(8) 館員の服務に関すること。

(9) 特別展の開催に関すること。

(10) 渉外及び宣伝に関すること。

(11) 資料館資料の収集・保管及び調査研究に関すること。

(12) 資料館資料の展示・閲覧及びその他教育普及に関すること。

(13) 生涯学習課との連絡調整に関すること。

(専決)

第3条 館長の専決事項は、別表に定めるとおりとする。

2 館長は、前項に定める専決事項以外のものであってもその事務内容が専決事項に準ずるものは、専決することができる。

(専決事項の制限)

第4条 館長は、前条の規程にかかわらず、重要若しくは異例と認められる事項又は疑義のある事項については、上司の決裁を受けなければならない。

(代決)

第5条 館長が不在のときは、あらかじめその事務処理について、特に指示を受けた事項又は緊急やむを得ない事項については、上席の館員がその事務を代決することができる。

2 代決した事項については、施行後速やかに館長の後閲を受けなければならない。

(日誌及び日報)

第6条 館長は、毎日、日誌に事件及び処務の概要を記録して、1週間ごとに上司の検閲を受けなければならない。

2 館長は月報を作製し、翌月3日までに上司へ報告しなければならない。

(その他)

第7条 この訓令に定めるもののほか、資料館の処務については、教育委員会の処務の例による。

附 則

この訓令は、平成9年4月1日から施行する。

附 則(平成11年3月29日教委訓令第1号)

この訓令は、平成11年4月1日から施行する

附 則(平成14年5月20日教委訓令第1号)

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

※ 添付様式の掲載は省略

## 入館者の声

資料館の休憩コーナーに置いてある雑記帳に、多くの来館者から様々なご意見があり、その数は2013年4月から1年間で約90件あった。今回はその中から、いくつか抜粋した。

- ミニわらじ作りに夢中になり、初めて楽しい体験をさせていただきました。資料も参考になりましたが、体験できる場があるのはいいですね。
- 箱根は年に3回くるほど好きですが、ここは初めて来ました。体験やわかりやすい説明で思っていたよりずっと楽しかったです。またアンケートに答えて、いただいたミニわらじもとても嬉しかったです。
- 箱根の歴史、自然、町の成り立ち、名物、農具、旅に関する道具や費用等々、資料も豊富で見ごたえがありました。
- 色々な遊び道具や昔のものがあつたので、楽しかったです。
- 初めて来ました。常設展示室がちょうどよい分量とポイントを絞っておりおもしろかったです。昔の写真が多いのが特に気に入りました。
- 実物のクワやキセルが見られて新鮮でした。  
寄木パズルが予想以上に難しく、バラバラのままにしまいました。
- 外はあいにくの雨だったので、中で休みながら寄木パズルをしました。  
子どもからお年寄りまで脳トレを楽しめました。
- 東京に帰る電車まで時間があつたので寄らせていただきました。  
パズルなどで楽しむことができ良かったです。力不足でミニわらじは作れませんでした。旅の記念にしたかったのに残念です。
- 雨で予定が狂い、時間が余つたので寄りました。からくりパズルに二人で大苦戦。  
なんとか完成させられました。次に来たらミニわらじも作ってみたいです。
- 小学校時代の生活を思い出し懐かしい気持ちでいっぱいです。

---

---

箱根町立郷土資料館

**館 報** 第 32 号

印 刷 平成 27 年 11 月 30 日  
発 行 日 平成 27 年 11 月 30 日  
編 集 箱根町立郷土資料館  
発 行 〒250-0311  
神奈川県足柄下郡箱根町湯本 266  
TEL 0460(85)7601 (生涯学習課)  
ホームページ [http://www.town.hakone.kanagawa.jp/hakone\\_j/ka/shougai/hlm](http://www.town.hakone.kanagawa.jp/hakone_j/ka/shougai/hlm)  
メールアドレス [kyoudo@town.hakone.kanagawa.jp](mailto:kyoudo@town.hakone.kanagawa.jp)

---

---